

4 文化の振興を図る

18 文化活動の促進

①施策の展開	文化活動の促進	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>活動・発表・鑑賞の場や情報の提供を行うとともに、人材・団体などを育成・支援するなど、市民が自主的に文化活動を行うための条件整備を図る。また、地域交流センターなどを活用し、文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実を図ることにより、市民相互の交流・連携を深める。</p>		
③構成取組	<p>(1) 文化施策振興事業 (2) 文化団体の育成支援 (3) <u>アルカスホール</u>⁽³¹⁾管理 (4) 池の里市民交流センター管理運営</p>		

④取組計画	<p>(1) 「市民たそがれコンサート」や「市民文化祭」、「寝屋川ミュージックデー」を引き続き実施する。</p> <p>また、地域交流センター（アルカスホール）のスタインウェイピアノをより一層活用するため、全国規模の「アルカスピアノコンクール」を開催するとともに、市民の鑑賞機会の充実に向け、ミュージカル「寝屋のはちかづき」を実施する。</p> <p>(2) 市民が自主的に文化活動を行うことができるよう、人材・団体の育成・支援などの条件整備を図る。</p> <p>(3) アルカスホールにおける稼働率と利便性の向上を図るため、指定管理者と連携し、積極的な自主事業の展開や施設のPRを行う。</p> <p>(4) 池の里市民交流センターでは、利用者が快適に文化・スポーツ活動に取り組めるよう、引き続き適切な維持管理を行う。</p>		
-------	---	--	--

⑤取組実績

(1) 「市民たそがれコンサート」や「市民文化祭」、「寝屋川ミュージックデー」を引き続き実施し、様々な文化の活動・発表・鑑賞の機会を提供した。

なお、「アルカスピアノコンクール」については、全国13都府県からの参加者があった。また、ミュージカル「寝屋のはちかづき」については、市立小学校4年生を招待した。

<主な文化施策振興事業の参加状況> (人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市民たそがれコンサート	1,033	529	1,067
市民文化祭	9,885	9,720	10,560
寝屋川ミュージックデー	2,285	2,241	2,258
アルカスピアノコンクール	—	参加者 635	参加者 577
ミュージカル 「寝屋のはちかづき」	—	小学4年生 2,073 一般 601	小学4年生 1,900 一般 595
市美術公募展 (入選作品展) ※隔年	720	—	796
寝屋川音楽祭～クラシック in ねやがわ～ ※隔年	990	—	813

(2) 文化関係団体へ支援を行うとともに、文化振興会議⁽³²⁾を3回開催し、諮問テーマ「今後、寝屋川市が重点化すべき文化振興施策について」に対する答申を受けた。

(3) 地域交流センター(アルカスホール)における稼働率と利便性の向上を図るため、定例会議等を通じて指定管理者と連携し、積極的な自主事業の展開や施設のPRを行った。

<地域交流センター（アルカスホール）利用状況>

	平成25年度 使用回数（回）			平成26年度 使用回数（回）		
	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
メインホール	61	101	162	84	111	195
ギャラリーなど その他施設	705	507	1,212	644	522	1,166
合計	766	608	1,374	728	633	1,361

	平成25年度 入場者数（人）			平成26年度 入場者数（人）		
	平日	土日祝	合計	平日	土日祝	合計
メインホール	9,724	22,203	31,927	14,867	24,404	39,271
ギャラリーなど その他施設	14,808	16,481	31,289	16,876	18,971	35,847
合計	24,532	38,684	63,216	31,743	43,375	75,118

平成25年度	メインホール	稼働率	47.5%
平成25年度	全施設	稼働率	56.1%
平成26年度	メインホール	稼働率	57.0%
平成26年度	全施設	稼働率	55.5%

<自主事業の実施状況>

- ①アルカスピアノコンクール応援プラン 75人
- ②こどもカーニバル 1,403人
- ③アルカスハッピーデイ 992人
- など、計29事業 5,636人

(4) 池の里市民交流センターの管理運営においては、利用者が快適に利用できるよう、多目的室や体育施設等の適切な維持管理やグラウンドの環境整備を行い、多くの市民に文化・スポーツ

活動の場を提供した。

<多目的室（分野別利用者数）>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
舞踊	4,754人	5,931人	7,259人
美術	1,616人	1,509人	1,525人
工芸	2,886人	3,798人	3,073人
音楽	2,114人	2,020人	2,337人
教養	9,835人	12,387人	13,989人
スポーツ	3,878人	5,171人	5,556人
合計	25,083人	30,816人	33,739人

<体育施設利用状況>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
団体利用	56,572人	57,496人	63,308人
個人利用	477人	338人	262人
合計	57,049人	57,834人	63,570人

⑥評価

- (1) 各事業において安定した集客を得ることができ、市民の文化芸術活動の活性化に寄与することができた。特に、全国規模の「アルカスピアノコンクール」やプロによる本格的なミュージカル「寝屋のはちかづき」の実施によって、音楽文化の振興・鑑賞機会の充実を図ることができた。
- (2) 文化振興会議において、専門的な見識によるアドバイスを受けたことによって、各事業の推進に大きく寄与した。今後、答申に沿った文化振興事業の実現に向け、文化に関わる人材・団

体の育成支援を始めとする様々な方策を検討していく。

(3) アルカスホールの指定管理者と月例報告会など積極的な意見交換を行うことによって、効率的・効果的な管理運営が図られた。今後も稼働率の向上はもちろん文化振興の拠点として一層のにぎわい創出に向け、指定管理者と協議し多様な取組を推進していく。

(4) 池の里市民交流センターを市民が快適に利用できるよう、多目的室や体育施設の更なる有効活用について検討していく必要がある。

19 文化財・地域文化資源の収集・保存及び公開・活用

①施策の展開	文化財の保存・活用・継承	課名	文化スポーツ振興課
②取組概要	<p>文化財の発掘、収集、保存及び調査・研究を進め、文化財を保存するとともに、次世代への継承を図る。また、文化財をわかりやすく展示、公開、活用するとともに、市内に点在する史跡、文化財、公園・緑地、文化施設、<u>新寝屋川八景</u>⁽³³⁾等を通して、新たな地域資源を発掘、活用することで、市民の「ふるさと 寝屋川」意識を高める。その一環として、国指定史跡高宮廃寺跡の活用調査等を行う。</p>		
③構成取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 文化財保護・整理事業 (2) 文化財公開活用事業 (3) 新寝屋川八景の周知・活用 (4) ネットワークサイン・ルート環境整備事業 		
④取組計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市内の指定文化財の保護や出土遺物の整理を行うとともに、国指定史跡高宮廃寺跡の管理活用計画を策定するための発掘調査を行う。 (2) 7月に埋蔵文化財資料館で新たなテーマによる企画展を開催するとともに、普段公開されていない市指定文化財を公開する。 (3) 新寝屋川八景を題材にした人形劇の上演等を通じて郷土愛を深め、「ふるさと寝屋川」の継承に努める。 (4) ネットワークルート上の誘導・説明案内板の修繕を計画的に行う。 		
⑤取組実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 石宝殿古墳・高宮廃寺跡・神田天満宮のくすのき・春日神社のしいの社叢等の国府指定文化財の保存管理を行うとともに 		

	<p>高宮廃寺跡の発掘調査を行った。あわせて、文化財防火訓練の実施、イオンモール四條畷の開発に伴う讚良郡条里遺跡の発掘調査報告書を作成した。</p> <p>(2) 埋蔵文化財資料館において、高宮廃寺跡や市内に点在する古代寺院跡等から出土した考古資料を企画展示した。また、通常非公開の市指定文化財3件（菅原神社本殿・西正寺絹本着色方便法身尊像・法安寺八相涅槃図）の公開や市指定史跡太秦高塚古墳の維持・管理を行った。</p> <p><埋蔵文化財資料館入館者数></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,767人</td> <td>3,124人</td> <td>2,730人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 新寝屋川八景を紹介したパンフレットを希望者に配布するとともに、西コミュニティセンター及び東コミュニティセンターで人形劇「トコトコはちかっちゃん」を上演した。</p> <p>(4) ネットワークサイン（誘導サイン2か所）の修繕を行った。</p>	平成24年度	平成25年度	平成26年度	2,767人	3,124人	2,730人
平成24年度	平成25年度	平成26年度					
2,767人	3,124人	2,730人					

⑥評価	<p>(1) 収集された遺跡出土品等は膨大な量にのぼり、収蔵場所の確保、市民への公開・活用の方法の検討が必要である。また、高宮廃寺跡の管理活用計画の策定に向けて基礎データを蓄積していく。</p> <p>(2) 整理作業を行ってきた考古資料を埋蔵文化財資料館において市民に公開し、文化財保護意識の高揚を図ることができた。また、通常非公開の市指定文化財を公開することで引き続き文化財の周知・活用に努めていく。</p> <p>(3) パンフレットの配布や人形劇の上演により、市民へ新寝屋川八景の周知が図られた。今後も郷土意識を醸成するため、機会あるごとに幅広く市民に周知していく。</p> <p>(4) ネットワークルートの案内板や説明板については、計画的に修繕等を実施し文化財めぐり等の市民の利便性に供していく。</p>
-----	--